

## イベント開催報告

2024年9月6日（金）に教育開発支援機構 教育開発・学習支援センターと学務部が主催し、第26回FDワークショップとして、「これからの学校教育が目指すべきもの－主体性と当事者性－」をオンラインにて開催しました。

第一部は教職員を対象とし、千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアム（千代田区キャンパスコンソ）共催で特別講演が実施されました。第二部については本学職員を対象に実施し、学生参画について本学の事例も踏まえグループワークにて意見交換を行いました。

<参加者数：103名（事務職員 85名／教員 3名／その他 3名／他大学教職員 12名）>



### イベント内容

第一部の特別講演では、「学校改革で社会が変わる－VUCA 時代における組織マネジメントから学校変革を促す－」と題して、工藤勇一氏（HOSEI2030推進本部アドバイザー・高大連携推進担当、横浜創英中学・高等学校前校長）にご講演いただきました。国際社会における現在の日本の位置づけやあるべき教育の姿、それに対する課題を提示いただきながら、これまでの工藤氏の学校改革のご経験を踏まえ、主体性と当事者意識の重要性をお話いただきました。質疑応答では、保護者の理解を得るためのポイントや情報の伝え方についてご教授いただき、有意義な時間となりました。

第二部は本学の職員を対象に、「学生参画を考える－学修者本位の教育－」をテーマに、代表的な学生参画の取り組みについて、その背景と目的、現状について紹介がありました。グループワークでは、職員としてこれから何ができるのかについて、日ごろ感じている学生に対する思いを共有しながら検討しました。様々な年次の職員と意見交換をする中で、多くの気づきを得る機会となりました。

### 参加者アンケートより

- ◆ **第一部「学校改革で社会が変わる－VUCA 時代における組織マネジメントから学校変革を促す－」**
  - ・講演を拝聴し、日本教育の課題を知ることで、現在在学している学生がどのような教育を受け、どのような特徴を持つのか把握することができました。日本のしつけ・教授型の教育が、主体性・自己肯定感・幸福度の低下を招いている事実は目を背けてはいけないうことだと感じました。そのような環境下で教育を受けた学生が、今法政大学にいるのだと思いました。高等教育機関として、学生にいかにか主体的な学修に取り組んでもらうか、考えていきたいという意識が強くなりました。
  - ・主体性と自主性の違いについてから、まず驚きでありました。そして、学生主体の学びを行うには、固定化した無意識を変え、その理念に皆が同じ方向を向いていかなければ達成できないと感じました。とても刺激的な講演の内容で、あっという間に時間が過ぎました。
  - ・繰り返し語られていた主体性と当事者意識について、従来の初等・中等教育を経て本学に入学してきた学生に対し、職員の立場からでも動機付けできるような関わり方を意識して接していきたいと思いました。
  - ・非常に興味深い内容でした。特に「日本の教育がサービス産業になっている」という点について、システム等が便利になることの利点もありつつ、学生の主体性を育てることにつながるためにはどうすべきかを考えなければならぬと感じました。
  - ・主体性が求められる現在において、その主体性を教育の場が奪ってしまっているという説明が印象に残りました。また、今後、教育に対する考えについて教師側の立場から学ぶ側の立場へのシフトが必要になっていくことを学びました。
- ◆ **第二部「学生参画を考える－学修者本位の教育－」**
  - ・自分が他大学の出身であるからこそ、法政大学の学生は学祭やピアサポートの取り組みを見ても、主体性が強いと感じていました。今回の研修を通して、学生の主体性を生かして自分で選択を行い自由な大学だからこそ、成長を感じることが出来る4年間にしてほしいと改めて思いました。そのために学部事務課としてできることは何かについて考え、またほかの学部担当の方の意見も伺うことができ私自身の視野も広がりました。
  - ・若手職員が活発に意見を言っている姿が良かったです。彼らの主体性を潰さない組織にしていかなければと思いました。
  - ・所属部署によって見えている学生像や、学生の参画方法が異なっていることが印象的でした。第一部でのご講演を踏まえ、主体性が低い学生に職員として何ができるか、活発な議論を交わすことができました。学生の参画について、職員側のメリットだけではなく、学生の経験・成長につながる内容であることが重要であると、個人的に感じました。ぜひ学習セッションや課外教養プログラムを運営している学生の声も聞いてみたいです。

FD

### 法政大学第26回 FDワークショップ

主催：法政大学教育開発支援機構 教育開発・学習支援センター／学務部  
共催：千代田区キャンパスコンソ

これからの学校教育が目指すべきもの－主体性と当事者性－

**特別講演 「学校改革で社会が変わる－VUCA 時代における組織マネジメントから学校変革を促す－」**

我が国の18歳人口の推移を見ると、2005年には約137万人であったものが、現在は約112万人まで減少しています。今後、2038年には約100万人を割って、約96万人となり、さらに2046年には約80万人にまで減少するという推計もある中、高等教育のみならず、初等中等教育も含めた一体で組織的な推進のもと、教育・学校改革の必要性が迫られています。今回は、千代田区立麹町中学校や横浜創英中学・高等学校の教育改革をはじめ、これまで「内閣官房教育再生実行会議委員」や「経済産業省産業構造審議会臨時委員」などを歴任してきた工藤勇一氏を講師に迎え、これからの学校教育が目指すべきもの、さらには中学・高校から見た「高大連携（接続）」「初年度教育」「高校が大学に求めるもの」についてご講演いただきます。

**日時**

2024年9月6日（金）14:00～17:00

**開催方法**

オンライン

**対象**

法政大学教職員、千代田区キャンパスコンソ教職員

**プログラム**

<第一部> 14:00～15:30 FDワークショップ

- ◆ 開会挨拶 14:00～14:05 常務理事・副学長 小秋元 段
- ◆ 特別講演 14:05～15:15

「学校改革で社会が変わる－VUCA時代における組織マネジメントから学校変革を促す－」

講演者 工藤 勇一氏 (HOSEI2030推進本部アドバイザー・高大連携推進担当、横浜創英中学・高等学校前校長)

- ◆ 質疑応答 15:15～15:30 休憩 (10分)

<第二部> 15:40～17:00 教育支援研修（学務部研修）（職員対象）

「学生参画を考える－学修者本位の教育－」

- ◆ 15:40～16:00 法政大学の取り組み紹介 学務部教育支援課長 土屋 貴之
- ◆ 16:00～16:30 グループワーク
- ◆ 16:30～16:50 発表
- ◆ 16:50～16:55 講師 常務理事 平山 直雄
- ◆ 16:55～17:00 閉会挨拶 教育支援統括本部長・学務部長 菊池 克仁

**申込方法**

- ◆ 以下のURLまたはQRコードにアクセスし、指定の申込フォームにてお申込みください。
- ◆ 法政大学職員（学務部以外）の方は、所属長の許可を得た上でお申込みください。
- ◆ 第二部は職員対象のプログラムと参ります。

<https://forms.gle/biDXRHHUQYtkr19B7>

申込締切：2024年9月2日（月）15:00

※個人情報保護に留意し、本イベント以外の目的では使用いたしません。

**お問い合わせ** 法政大学教育開発支援機構 教育開発・学習支援センター／学務部

TEL：03-3264-4268 E-mail：kyoiku@hosei.ac.jp